

2013 年 8 月 9 日

ラピスセミコンダクタ株式会社

<http://www.lapis-semi.com>

## **U8 Development Tools Release 1.10.0aリリースノート**

本書では、U8 Development Tools Release 1.10.0(以下、本リリースと呼びます)について説明します。

1. [動作環境](#)
2. [対応LSI](#)
3. [変更内容](#)
4. [CDの構成内容](#)
5. [インストール方法](#)
6. [アンインストール方法](#)
7. [注意事項](#) (ご使用前に必ずお読みください)

### **1. 動作環境**

本リリースは、Windows XP, Windows Vista\*, Windows 7\*上で動作します。

\* 32bit(x86)/64bit(x64)に対応。管理者権限のあるアカウントでログオンしてください

### **2. 対応 LSI**

本リリースでは、以下のLSI用機種情報ファイルをインストールできます。ここにはないLSI用の機種情報ファイルについては、弊社営業までお問い合わせ頂くか[WEBサイト](#)にてダウンロードしてください。

ML610Q101/Q102  
ML610Q111/Q112  
ML610Q172/Q173/Q174/Q178  
ML610Q304  
ML610Q340/Q346/Q347  
ML610Q355/Q356/Q359/Q360  
ML610Q380/Q385  
ML610401/402/403/404/405/406/Q407/Q408/Q409  
ML610Q411/Q412/Q413/Q415/Q419/Q419C  
ML610Q421/Q422/Q426/Q426C/Q428/Q429  
ML610Q431/Q432/Q435/Q436/Q438/Q439  
ML610Q471/Q472/Q473/Q474/Q475/Q476/Q477/Q478/Q479  
ML610Q482/Q484/Q486/Q488

### 3. 変更内容

本リリースでは、以下の内容が更新されています。

(1) CCU8 コンパイラの改版 (V3.41)

- ・ 関数入口・出口のレジスタ退避・復帰の共通化を制御する機能を追加しました
- ・ INLINE プラグマの制限を緩和しました
- ・ インライン関数にて定数を参照し、その後に変数宣言をするとインターナルエラーが発生する問題を改修しました

詳細はCCU8 コンパイラの[Readmeファイル](#)を参照してください。

(2) FWuEASE フラッシュライタの改版 (V2.00)

- ・ ターゲットマイコンの情報を各ターゲットマイコンの TRG ファイルから取得するようにしました。
- ・ フラッシュメモリが無い領域への書き込みが指定された場合、エラーとせずその領域に対する書き込みをスキップするようにしました
- ・ ML610Q101/Q102/Q111/Q112/Q355/Q356/Q359/Q360 に対応しました

詳細はFWuEASEフラッシュライタの[Readmeファイル](#)を参照してください。

(3) MWuEASE フラッシュマルチライタ用インストーラを追加

(4) 汎用 LSI 機種情報ファイルの追加・更新

汎用 LSI 機種情報ファイルに、ML610Q304 用を追加しました。

ML610401/402/403/404/405/406/Q407/Q408/Q409 用機種情報ファイルを更新しました。

#### 4. CD の構成内容

「U8 Development Tools Setup CD」には、下記の構成でファイルが格納されています。

フォルダ		ファイル	説明
¥ (Root)		ReleaseNote_j.pdf (日本語版) ReleaseNote_e.pdf (英語版)	リリースノート(本書)
		License_j.pdf (日本語版) License_j.pdf (英語版)	ソフトウェア使用許諾契約書です。 ソフトウェアをご使用になる前に必ずお読みください。
Setup		-	インストーラ格納用フォルダです。各ツールのインストーラがフォルダ別に格納されています。
U8DevTools	jp	SetupU8Dev_j.exe (日本語版)	U8 開発環境ソフトウェア (IDEU8, CCU8, MACU8, DTU8, LCD イメージツール等)、および関連マニュアルのインストールを行います。
	en	SetupU8Dev_e.exe (英語版)	
FWuEASE	jp	SetupFWuEASE_j.exe (日本語版)	FWuEASE フラッシュライターおよび関連マニュアルのインストールを行います。
	en	SetupFWuEASE_e.exe (英語版)	
MWuEASE	jp	SetupMWuEASE_j.exe (日本語版)	MWuEASE フラッシュマルチライターおよび関連マニュアルのインストールを行います。
	en	SetupMWuEASE_e.exe (英語版)	
U8DevInfo	jp	SetupDevInfo_j.exe (日本語版)	汎用 LSI 用機種情報ファイル (DCL ファイル、TRG ファイル、スタートアップファイル等) のインストールを行います。 <b>※U8 開発環境ソフトウェア、FWuEASE、MWuEASE をインストールした後に必ずインストールして下さい。</b>
	en	SetupDevInfo_e.exe (英語版)	
Driver		uEASE_inst_pac	uEASE および nanoEASE 用 USB ドライバです。
		DrU8ICE_inst_pac	Dr.U8ICE 用 USB ドライバです。
		DrU16ICE_inst_pac	Dr.U16ICE 用 USB ドライバです。
		DrICE_inst_pac	Dr.ICE 用 USB ドライバです。
DocFiles		-	U8 開発環境のソフトウェアおよびハードウェアのマニュアルや Readme ファイルを格納したフォルダです。
Manuals	jp	PDF ファイル(日本語版)	ユーザズマニュアルを格納したフォルダです。
	en	PDF ファイル(英語版)	
Readme	jp	index_j.html(日本語版)	Readme ファイルを格納したフォルダです。各ソフトウェアのアップデート内容や制限事項を記載しています。
	en	index_e.html (英語版)	

## 5. インストール方法

本リリースをご使用になる際は、必ず以下の手順に従ってインストールしてください。**なお、インストールの際は、管理者(Administrator)権限を持つアカウントでログオンしてください。**

### 手順 1：旧版をアンインストールする

U8 Development Tools の旧版がインストールされている場合は、本リリースをインストールする前に旧版をアンインストールしてください。旧版がインストールされていない場合は手順 2 に進んでください。

アンインストールは、下記「6. アンインストール方法」を参照してください。

### 手順 2：本リリースをインストールする

「U8 Development Tools Setup CD」を、PC の CD-ROM ドライブにセットしてください。

#### (1) U8 開発環境ソフトウェアのインストール

CD-ROM ドライブの Setup¥U8DevTools¥jp フォルダの下にある SetupU8Dev.j.exe を起動します。

以降は、セットアッププログラムの指示に従ってインストール作業を行なってください。

上記インストーラを実行すると、デフォルトでは「¥Program Files¥U8Dev」フォルダにインストールします。

また、[スタート]→[すべてのプログラム]メニューの下に[U8 Tools]メニューが作成され、[U8 Tools]メニューの下に[nX-U8]と[nX-U8 ドキュメント]メニューを作成し、それらのメニュー内にショートカットを作成します。

#### (2) フラッシュライター FWuEASE のインストール

CD-ROM ドライブの Setup¥FWuEASE¥jp フォルダの下にある SetupFWuEASE.j.exe を起動します。

以降は、セットアッププログラムの指示に従ってインストール作業を行なってください。

上記インストーラを実行すると、デフォルトでは「¥Program Files¥U8Dev」フォルダにインストールします。

また、[スタート]→[すべてのプログラム]メニューの下に[U8 Tools]メニューが作成され、[U8 Tools]メニューの下に[uEASE]メニューを作成し、そのメニュー内にショートカットを作成します。

#### (3) マルチフラッシュライター MWuEASE のインストール

CD-ROM ドライブの Setup¥MWuEASE¥jp フォルダの下にある SetupMWuEASE.j.exe を起動します。

以降は、セットアッププログラムの指示に従ってインストール作業を行なってください。

上記インストーラを実行すると、デフォルトでは「¥Program Files¥U8Dev」フォルダにインストールします。

また、[スタート]→[すべてのプログラム]メニューの下に[U8 Tools]メニューが作成され、[U8 Tools]メニューの下に[uEASE]メニューを作成し、そのメニュー内にショートカットを作成します。

#### (4) 汎用 LSI 用機種情報ファイルのインストール(汎用 LSI を使用しない場合、インストールは不要です)

※汎用 LSI 用機種情報インストーラは、上記(1)、(2)および(3)のツールから参照される機種情報ファイルをインストールするものです。汎用 LSI 用機種情報ファイルのインストールは、上記(1)、(2)、(3)のインストール後に実施するようにしてください。インストールの順序に従わなかった場合、正しくインストールされないことがあります。

CD-ROM ドライブの Setup¥U8DevInfo¥jp フォルダの下にある SetupDevInfo.j.exe を起動します。

以降は、セットアッププログラムの指示に従ってインストール作業を行なってください。

上記インストーラを実行すると、デフォルトでは「¥Program Files¥U8Dev」フォルダにインストールします。

## (5) USBドライバのインストール

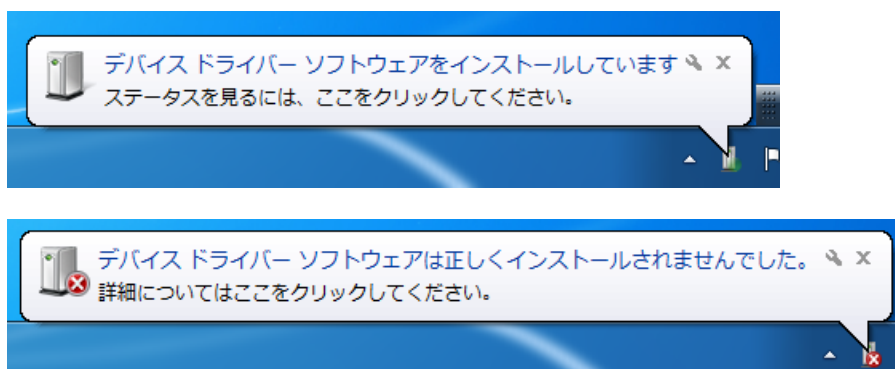
uEASE や nanoEASE、Dr.U8 ICE、Dr.U16 ICE、Dr.ICE を PC に初めて接続した場合は、USBドライバのインストールが始まります。USBドライバが既にインストールされている場合は、本項は読み飛ばしてください。

なお、本項ではWindows 7でのインストール例を紹介しますが、PCの環境などによっては、表示されるメッセージなどが異なる可能性もあります。その場合、実際の画面表示に従って、インストールを行ってください。

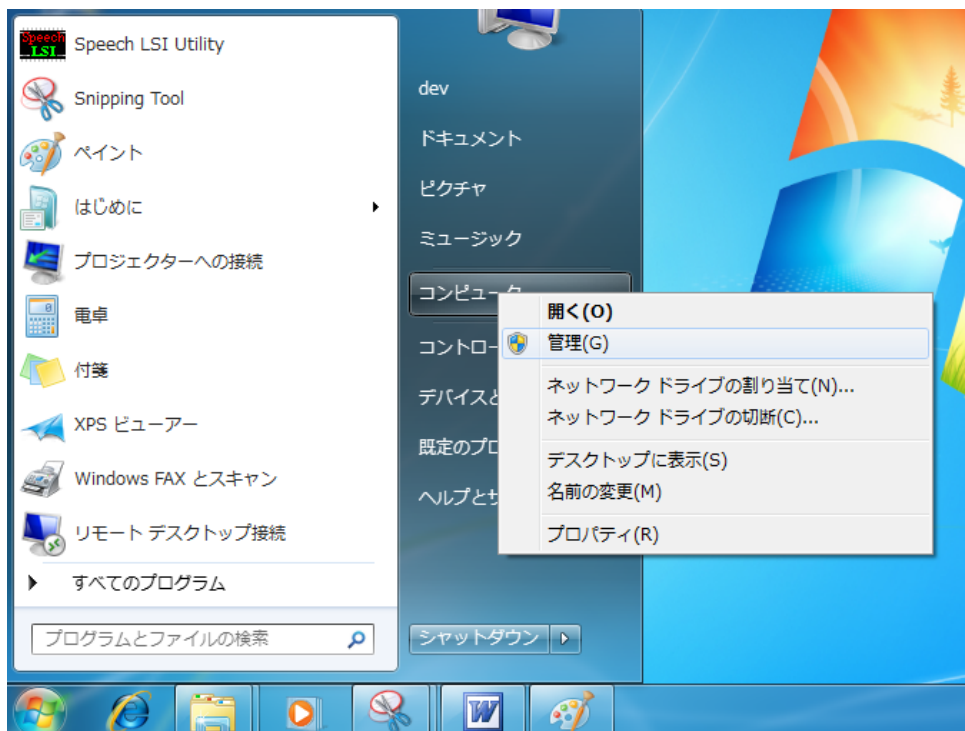
以下はuEASE/nanoEASE用ドライバをインストールする際の手順です。その他のICE用ドライバをインストールする場合も、同様の手順でインストールできます。

### (5)-1 Windows 7でのインストール手順

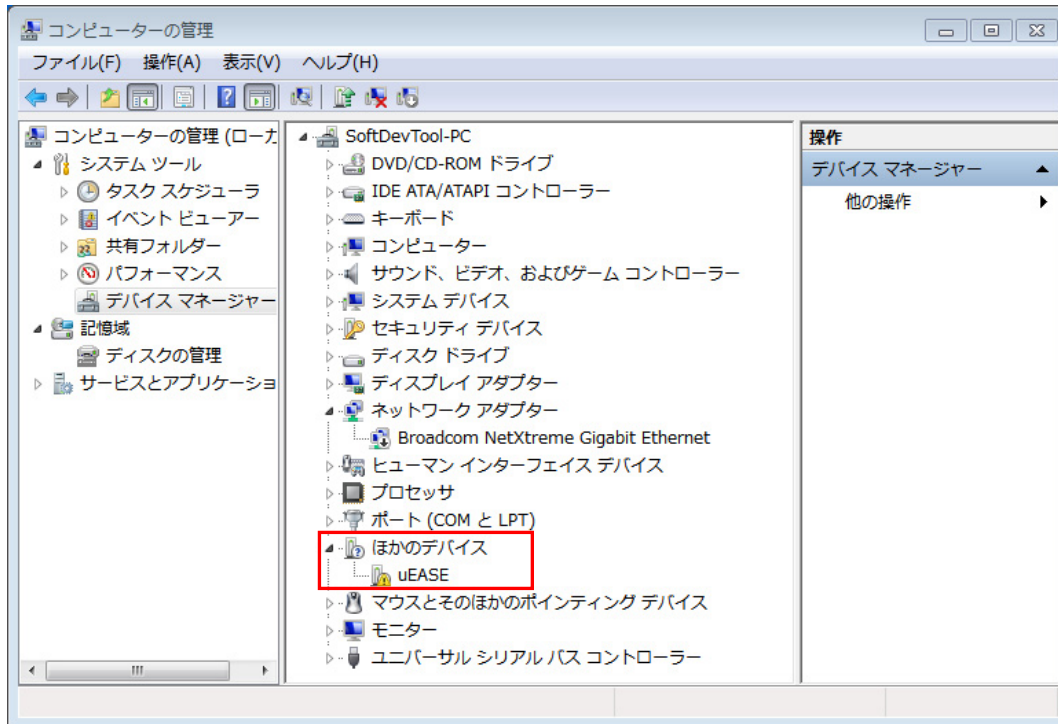
uEASE と PC を USB ケーブルで接続すると、以下のメッセージが順次表示されます。



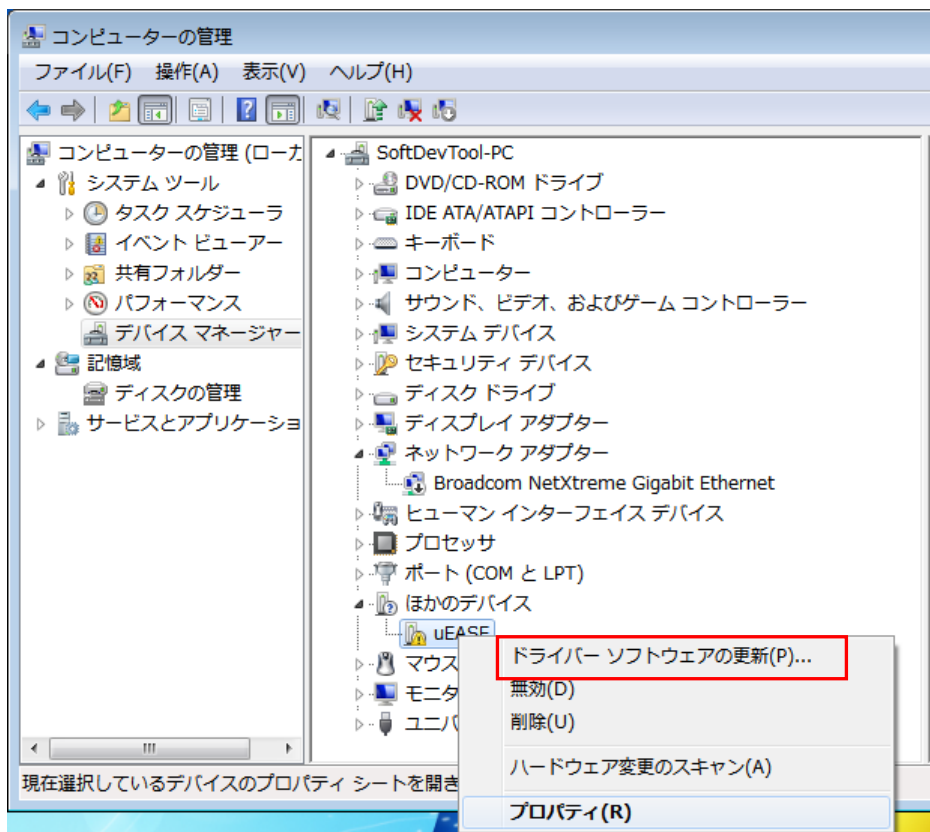
スタートメニューを開いて「コンピュータ」をマウスで右クリックして、「管理」を選択します。



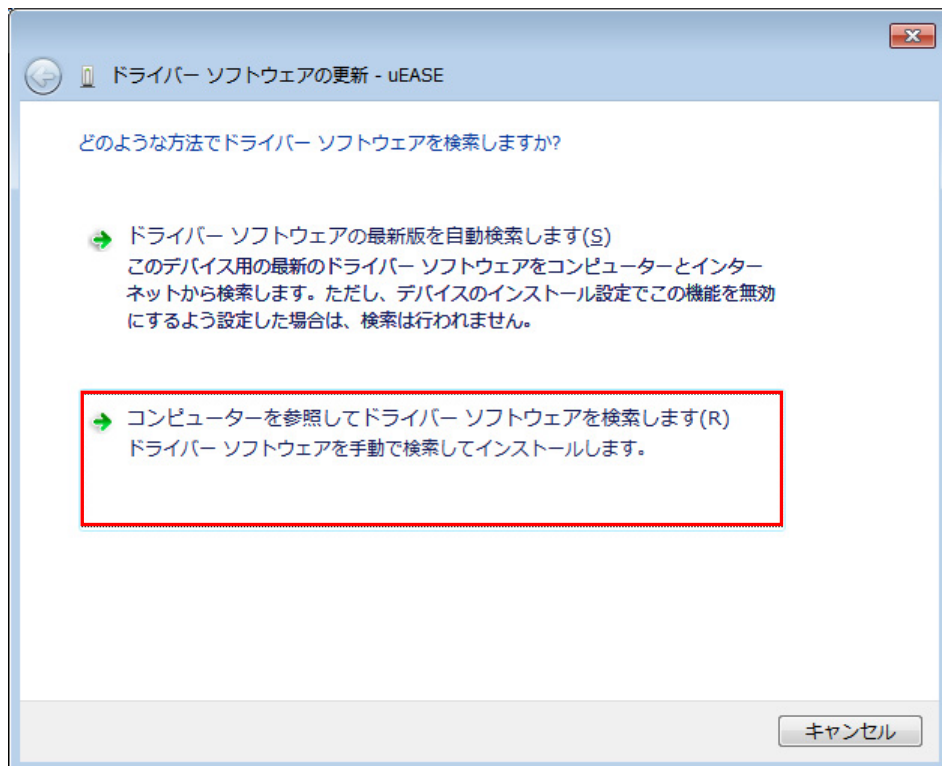
「コンピュータの管理」で、「デバイスマネージャー」をクリックします。お使いの PC のデバイスが一覧表示されます。(表示内容は環境により異なります。)



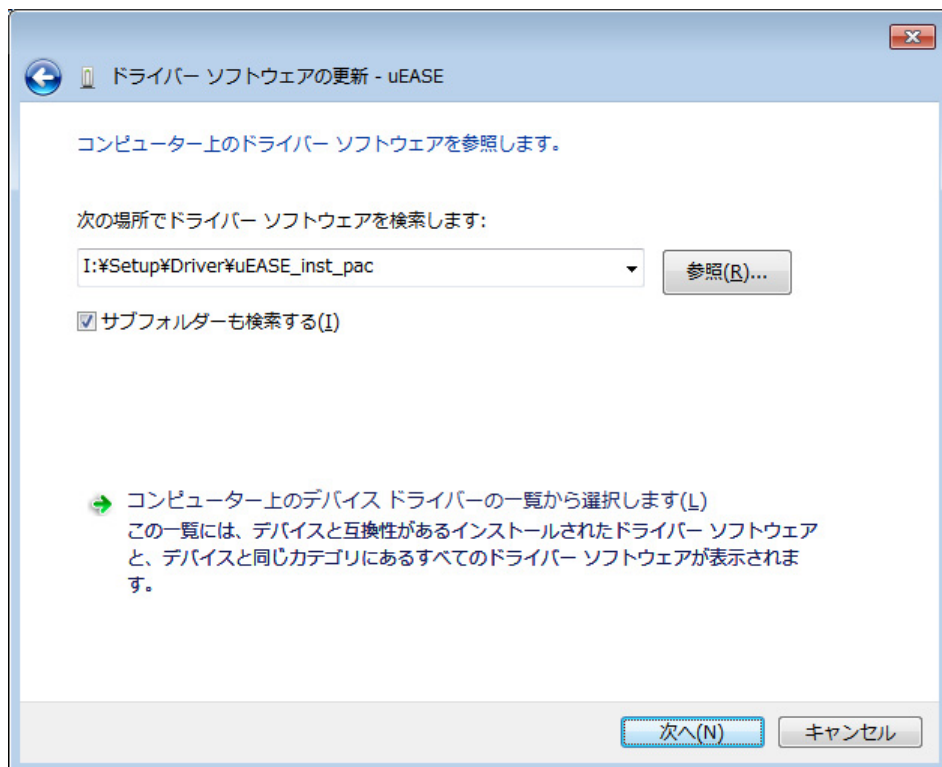
一覧の中に「uEASE」が警告マーク付で表示されていますので、これを右クリックして、表示されたメニューから「ドライバーソフトウェアの更新」を選択します。



ダイアログが表示されるので、「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」を選択します。

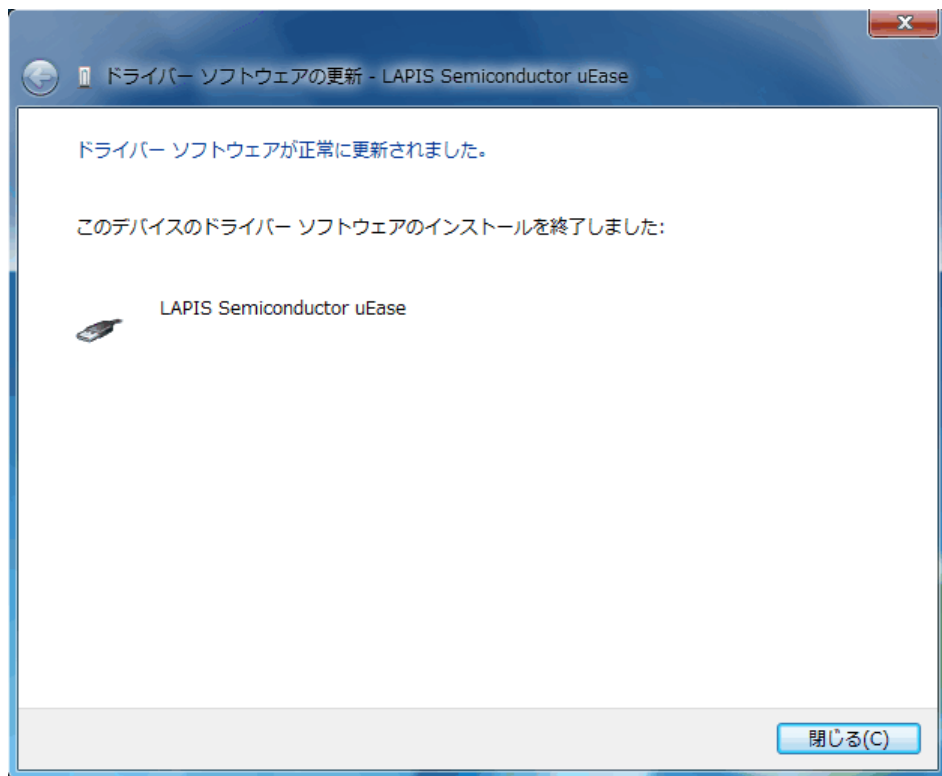


インストール CD ROM をドライブに挿入し、そのドライブの「Setup¥Driver¥uEASE\_inst\_pac」フォルダを指定して【次へ】を選択します。





インストールを確認するダイアログが表示されるので、インストールを実行します。  
インストールに成功すると下記のダイアログが表示されます。



## 6. アンインストール方法

アンインストールは、コントロールパネルの [プログラムの追加と削除] から以下のプログラムを選択して削除してください。

- |                     |   |
|---------------------|---|
| • U8 開発環境ソフトウェア:    | LAPIS Semiconductor U8 Development Tools          |
| • フラッシュライター:        | LAPIS Semiconductor FWuEASE Flash Writer          |
| • マルチフラッシュライター      | LAPIS Semiconductor MWuEASE Multiple Flash Writer |
| • 汎用 LSI 用機種情報ファイル: | LAPIS Semiconductor U8 Device Information Files   |

インストールフォルダにファイルを追加コピーしている場合などは、上記アンインストールだけではすべてのファイルが削除されない場合があります。その場合は、インストールフォルダを手動で削除してください。



## 7. 注意事項

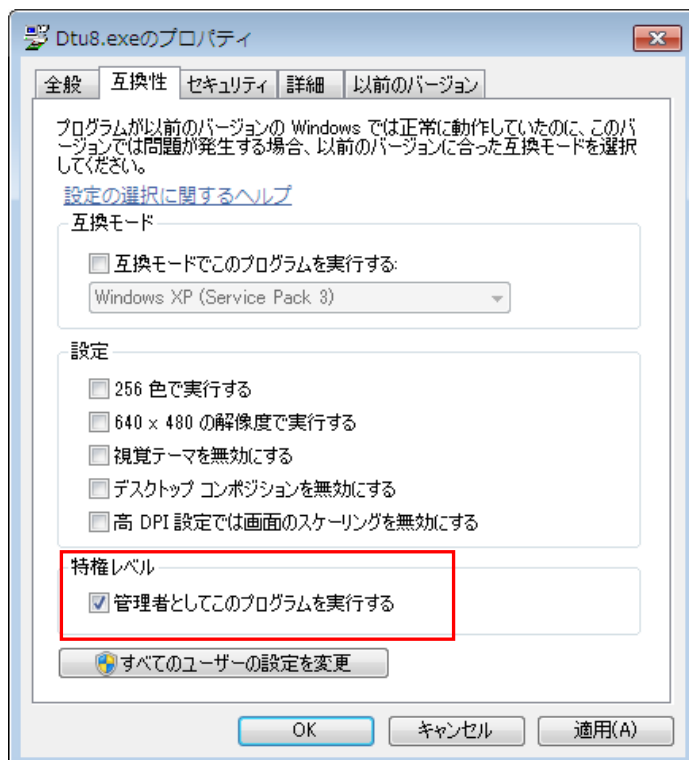
### 7.1 Windows Vista/7 での注意事項

Windows Vista または 7 でご使用になる場合は、管理者権限を持ったアカウントでログオンしてご使用ください。  
また、インストール後に以下の手順で DTU8 実行ファイルに対して特権レベルを設定してください。

- ① Windows のスタートメニューから「マイコンピュータ」を開きます。
- ② C:\Program Files\U8dev\Bin フォルダ (32bit 版の場合) または C:\Program Files (x86)\U8dev\Bin フォルダ (64bit 版の場合) に移動し、DTU8.exe を選択した状態でマウスの右ボタンをクリックし、「プロパティ」を選択してください。



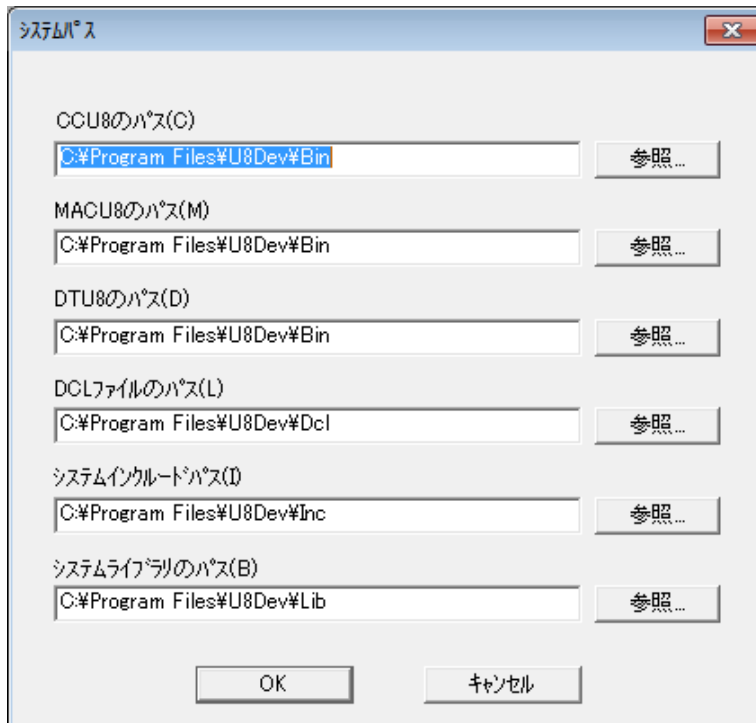
- ③ 表示された「DTU8.exe のプロパティ」ダイアログで、「特権レベル」の『管理者としてこのプログラムを実行する』をチェックし[OK]ボタンを押してください。



## 7.2 64bit 版 Windows での注意事項

### (1) IDEU8 のシステムパスの変更

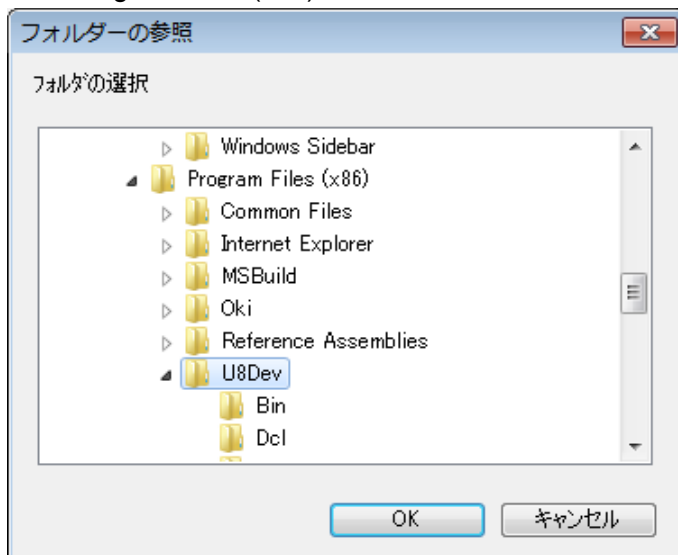
IDEU8 を初めて起動すると以下のようなシステムパスを設定するためのダイアログが表示されます。Windows Vista および Windows 7 の 64bit 版で U8 開発環境ソフトウェアをご使用になる場合、デフォルトの状態では U8 開発環境ソフトウェアがインストールされているフォルダとは異なるパスが格納されています。そのまま OK ボタンを押すとビルド時に C コンパイラ等のビルドツールが起動できずエラーとなってしまいますので、以下の要領で U8 開発環境がインストールされているフォルダを設定してください。



ダイアログ右上の[参照]ボタンを押して、「フォルダーの参照」ダイアログを表示させます。

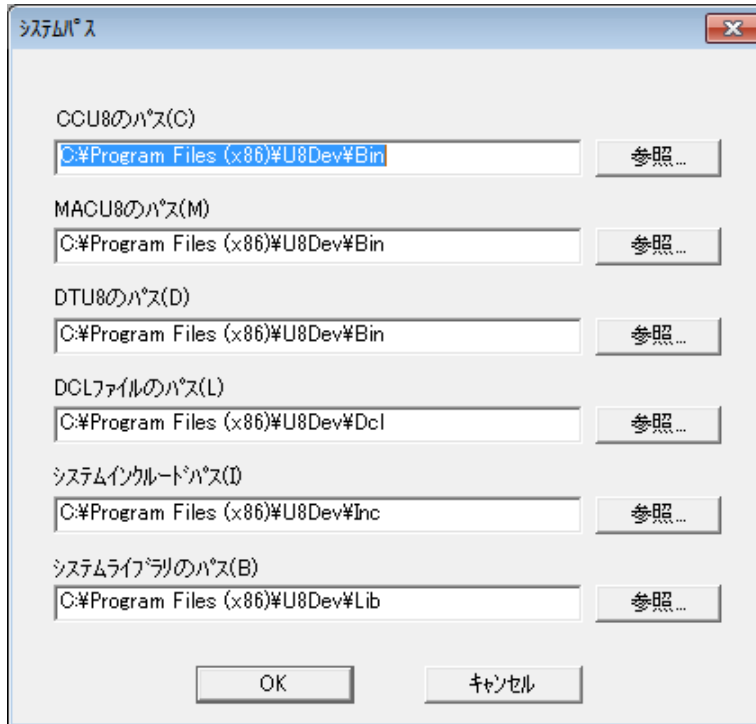
Windows Vista および Windows 7 の 64bit 版では、U8 開発環境は以下のフォルダにインストールされています。(デフォルトの場合)

**C:\Program Files (x86)\U8Dev**



U8 開発環境ソフトウェアがインストールされている以下のフォルダをそれぞれ選択します。

CCU8 のパス:	C:\Program Files (x86)\U8Dev\Bin
MACU8 のパス:	C:\Program Files (x86)\U8Dev\Bin
DTU8 のパス:	C:\Program Files (x86)\U8Dev\Bin
DCL ファイルのパス:	C:\Program Files (x86)\U8Dev\Dcl
システムインクルードパス:	C:\Program Files (x86)\U8Dev\Inc
システムライブラリのパス:	C:\Program Files (x86)\U8Dev\Lib



[OK]ボタンを押します。

## (2) IDEU8 用プロジェクトファイルのフォルダ

Windows Vista および Windows 7 の 64bit 版では、IDEU8 用プロジェクトファイルがスペース文字や2バイト文字がフォルダ名に入ったフォルダにあると、正常にファイルの読み書きが行えないことがあります。プロジェクトファイルはフォルダ名にスペース文字や2バイト文字が入らないフォルダに置いてください。

## (3) 32bit 版 Windows で作成した IDEU8 用プロジェクトファイルについて

32bit 版 Windows で作成した IDEU8 用プロジェクトファイルを 64bit 版 Windows 上の IDEU8 で開いたとき、または 64bit 版 Windows で作成した IDEU8 用プロジェクトファイルを 32bit 版 Windows 上の IDEU8 で開いたときに、U8 開発環境がインストールされたフォルダが異なるためプロジェクトに登録したスタートアップファイルやシステムヘッダファイルが見つからずエラーとなることがあります。

このような場合、エラーとなったファイルをU8開発環境がインストールされているフォルダ以外のフォルダ(プロジェクトフォルダなど)にコピーし、コピーしたファイルをプロジェクトに登録してください。

### 7.3 HTU8 の出力するチェックサムとの違いについて

以下の LSI において、HTU8 の出力したファイルのチェックサムの値と、そのファイルを MWuEASE が読み込んだときに出力するチェックサムの値が異なります。

ML610Q101/Q102  
ML610Q111/Q112  
ML610Q355/Q356/Q359/Q360  
ML610401/402/403/404/405/406/Q407/Q408/Q409  
ML610Q426/Q426C  
ML610Q471/Q472/Q473/Q474/Q475/Q476/Q477/Q478/Q479  
ML610Q413

上記 LSI において、HTU8 と MWuEASE が出力するチェックサムの値を同じにするには、HTU8 において **/NM** オプションを指定してファイルを出力して下さい。

以下に記述例を示します。

**【記述例】**

HTU8 hexfile.hex /Tml610101 /NM

### 7.4 ログオン時のアカウント名に関する注意事項

以下の文字を含むアカウント名でログオンしている場合、正常にプログラムのビルドができない場合があります。この文字を含まないアカウント名でログインしてビルドを行ってください。

&

以上